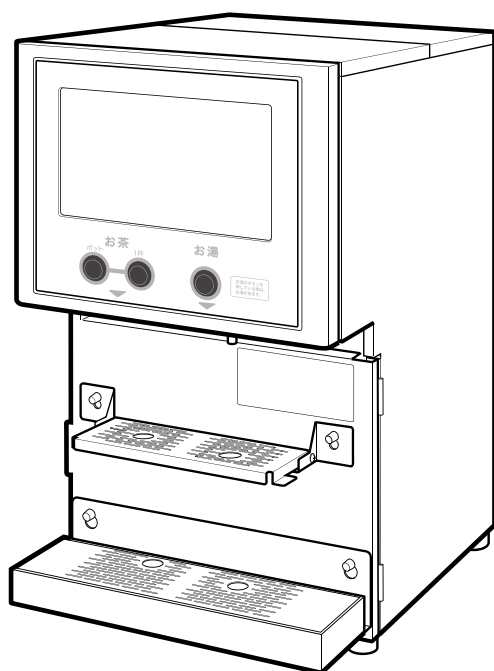


# 自動お茶いれ機 取扱説明書

形名

## HPT-317L



## もくじ

安全上のご注意	1~4
お願い	4
各部のなまえ	5~6
設置について	6~8
正しい使いかた	9~12
お手入れ	13~15
修理サービスを依頼する前に	16
仕様	17
保証とアフターサービス	18
長期使用製品の安全に関するお願い	19

- このたびは自動お茶いれ機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、いつも手元においてご使用ください。
- 保証書を販売店から必ずお受け取りのうえ保存してください。



# 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、据え付け工事をするかた、お使いになるかた、他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

据え付け工事の完了後は試運転をおこない、異常がないことを確認してください。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## 【表示の説明】




表示	表示の意味
 <b>警告</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 <b>注意</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

\*1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

\*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

\*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

## 【図記号の説明】

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指示	●は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 注意	△は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

## 【本体ラベルの確認】

本体に警告・注意ラベルを貼り付けてありますので、ご確認ください。もし、ラベルが紛失していたり汚損により見にくいときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

## 免責事項

- 地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、改造、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

# 設置上の注意事項

## ⚠ 警告

据付・配管・電気工事は関連法規や地方条例と、この取扱説明書にしたがう  
工事に不備があると、火災・感電・水漏れの原因になります。



指示

電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する  
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



コンセントを単独で使用する

アース（接地）線の取り付けを確認する

故障・漏電のときに感電する原因になります。  
D種接地工事が必要です。またアース線はガス管・水道管・避雷針・電話線などへの接続はしないでください。



アースの接続

本体近くの操作しやすいところに専用止水栓を設ける  
水漏れするとき、専用止水栓がないと大きな被害の原因になります。



専用止水栓の取付

給水配管は、関連法規や地方条例に適合した材質（ステンレス管や合成樹脂  
内面処理管など）を使用する

ゴムやビニールのホースを使用すると、水圧により破裂し、水漏れの原因になります。



指示

湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない  
漏電の原因になります。

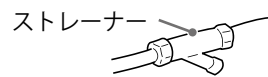


湿気・水の禁止

## ⚠ 注意

配管水路にストレーナーを設ける

本体に異物が進入し、水漏れや故障の原因になります。



ストレーナーの設置

ガス類や引火物がある場所の近くには設置しない  
引火し発火する原因になります。



引火物禁止

水道法の水質基準に適合する水を使用する

お湯（30℃以上）や適合しない水を給水すると、衛生上の問題や故障の原因になります。



指示

給水圧が高いときは減圧弁を使用する

水漏れや故障の原因になります。給水水圧は0.05～0.75MPaの間で使用してください。



減圧弁を使用

# 安全上のご注意 (つづき)

## 警告

配管接続部は確実に接続する

接続部がはずれ、水漏れの原因になります。



接続確認

排水ホースは直接排水口に差し込む

水漏れのと看拡大被害の原因になります。



直接排水

## 取扱い上の注意事項

### 警告

異常がある場合は、事故防止のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店に点検・修理を依頼する

異常のまま放置すると感電・火災・水漏れの原因になります。



電源プラグを抜く

電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



コンセントを単独で使用する

分解・改造・修理はしない

発火したり、異常動作してけがの原因になります。



分解禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



傷んだ電源コード、電源プラグ禁止

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き乾いた布などでよくふく

ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。



ほこりをとる

漏電遮断器（電源スイッチ）の動作を確認する

故障のまま使用すると漏電のと看感電する原因になります。

漏電遮断器（電源スイッチ）のテストボタンを月に一度押して、動作を確認してください。



動作の確認

部品の取り付け、取りはずしおよびお手入れするときは、電源スイッチを切る

感電やけがの原因になります。



指示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない

ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

茶の葉の交換動作中は交換機構部に手を触れない

けがをする原因になります。



接触禁止

## ⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに  
必ず先端の電源プラグを持って抜く  
感電やショートして発火する原因になります。



電源プラグを抜く

月に一度は電源プラグ部分を点検する  
電源プラグとコンセントの接触が悪くなり、異常発熱して発火する原因になります。



電源プラグの点検

本体上に重量物を置かない  
扉の開閉で落下し、けがをする原因になります。



上乗せ禁止

本体上に水を入れた容器を置かない  
水がこぼれ電気絶縁が劣化し、漏電や感電の原因になります。



上乗せ禁止

## お願い

### 長時間お使いにならないとき

#### 2日以上ご使用にならなかったとき

電源スイッチを切った状態で長時間放置すると、湯タンクの温度が下がり、雑菌が繁殖する恐れがあります。

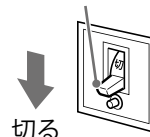
湯タンクの水を排水し、新しい水道水と入れ替えてください。

前面板を開けて電源スイッチを切り、飾りネジをはずして下部カバーを開け、湯排水コックを「開」にして排水します。

湯排水コックを「閉」にし、再度電源スイッチを入れ、新しい水道水と入れ替えます。

日常のお手入れは、湯排水コックを閉じておこなってください。

電源スイッチ



切る



閉

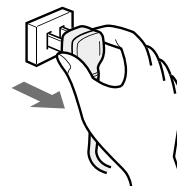


専用止水栓

#### 1週間以上ご使用にならないとき

原料容器の茶の葉を全部取り出します。止水栓を閉め排水し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、排水してください。

抜く



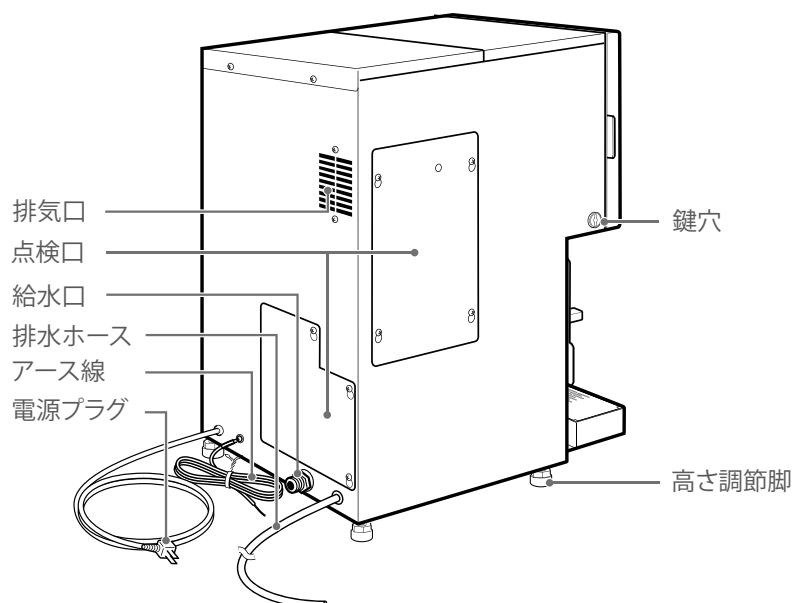
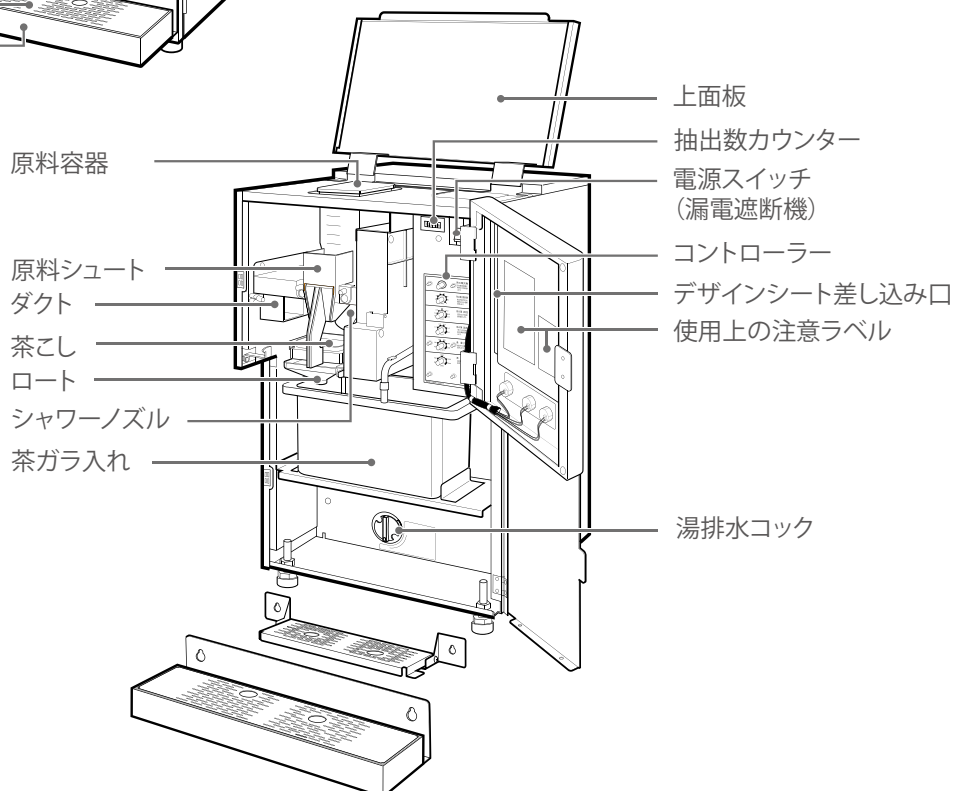
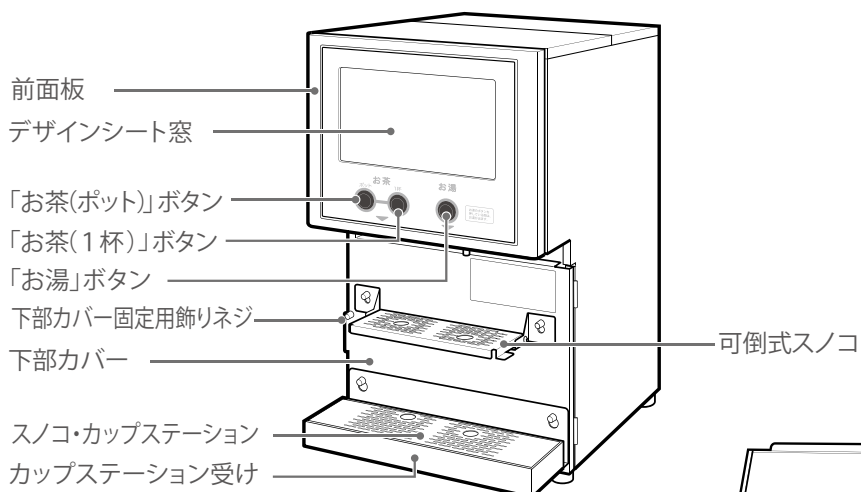
### 月に一度は漏電遮断器（電源スイッチ）の動作を確認する

電源スイッチは漏電遮断器とかねています。月に一度は電源スイッチが「入」の状態、漏電遮断器のテストボタンを押し、「切」になるか確認してください。

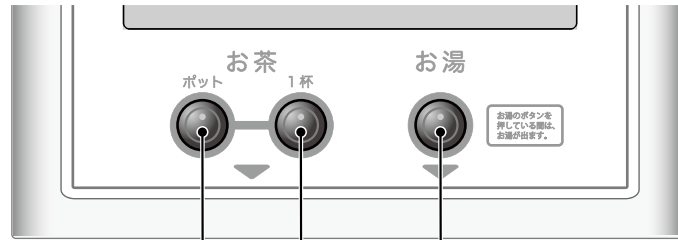
### お湯と水の配管部分は定期的に点検する

水の中に含まれている成分の量により、水あかや沈殿物が発生し、故障の原因となる場合があります。点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

# 各部のなまえ



## 飲料ボタン



### 「お茶(ポット)」ボタン

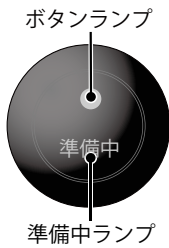
2秒間長押しするとポット1本分のお茶が抽出されます。湯量はコントローラーで調節できます。(11ページ「湯量の調節」参照)

### 「お茶(1杯)」ボタン

1回押しでカップ1杯分のお茶が抽出されます。湯量はコントローラーで調節できます。(11ページ「湯量の調節」参照)

### 「お湯」ボタン

押しているあいだお湯がでます。



### ボタンランプ

- ボタンランプが点灯している飲料ボタンを押すと、抽出することができます。抽出中はボタンランプが点滅します。

### 準備中ランプ

- 正常な状態では消灯しています。
- 湯タンク内の温度が適温以下となったとき、または湯タンクの水位が低く抽出できないときは、すべての飲料ボタンの準備中ランプが点灯します。

## 設置について

### 警告

湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない  
漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

アース（接地）線を取り付ける

故障・漏電のときに感電する原因になります。D種接地工事をし、アース線はガス管・水道管・避雷針・電話線などへの接続はしないでください。



アースの接続

## 設置環境と据付け工事

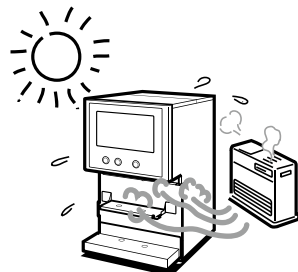
床は丈夫で平坦な場所に水平に据え付けます

床が傾いていたり不安定な場所では、転倒したり振動や騒音の原因になります。



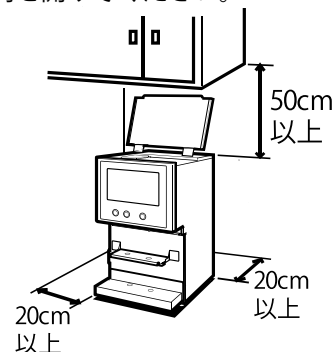
直射日光の当たる場所や、熱器具のそばに据付けられていませんか

本体温度が上がり、過熱し故障の原因になります。



風通しが良く保守や修理サービスの容易なところに据え付けられていますか

必ず両側面と後面は20 cm以上の隙間を開けてください。スペースを開けないと換気効率が悪くなったり、扉を開けたとき物に当たったりします。また、上側は茶の葉を入れたり、修理サービスのときに上面板が開けられるように、50 cm以上空間を開けてください。



# 設置について (つづき)

## 配管工事

上水道を使用する場合は、当該水道局の条例に基づき、認定工事業者が次により施工してください。

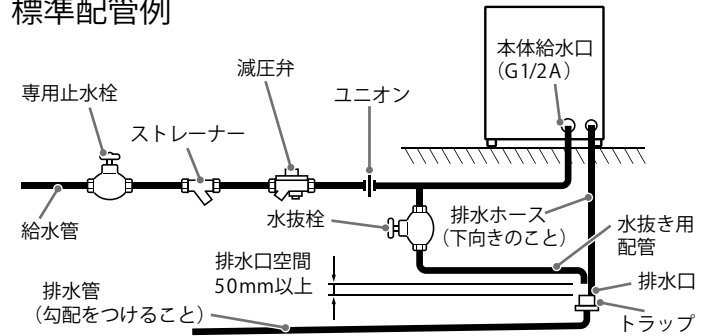
### 給水配管

配管工事は据付地区の気象条件にあわせ、標準配管例に準じて施工します。また、寒冷地区は凍結防止処理を標準配管例に準じて施工します。

配管は耐食性のあるステンレス管や合成樹脂内面処理管などを水質により選定し、配管材料は切断後、必ずバリを取って使用してください。

配管材料を自動お茶いれ機本体に接続する前に、必ず捨て水をして配管内のゴミ・シール材などを洗い流してから接続してください。油污れ、バリやゴミなどが入ると動作不良や異味、異臭の原因になります。水道水圧が高いときは、減圧弁を設けて給水水圧を0.05～0.75MPaの間で使用してください。また、保守や点検のときや、水漏れの対策として給水側に専用止水栓と水抜き栓と減圧弁を設け、減圧弁の出口側にはユニオンを設けてください。また、専用止水栓の後にストレーナーを設けることにより、給水側から自動お茶いれ機本体への異物進入を防ぎます。他の給湯機を接続し給水する場合は、飲料用給湯機を使用し、その取扱説明書、工事説明書にしたがい、減圧弁や逃し弁を接続してください。

### 標準配管例

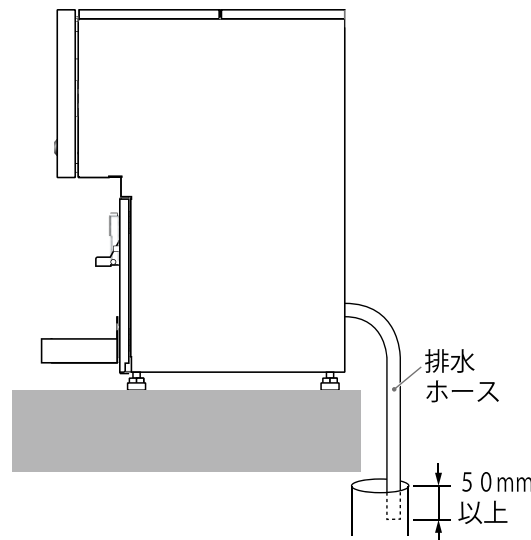


※水抜き用配管は逆流防止のため、排水口空間を50mm以上確保してください。

### 排水配管

排水口に直接排水して使用します。使用する配水管は、熱いお湯が流れるので、耐熱性のある管を使用してください。また、防臭・湯気の逆流防止のためにトラップを設けてください。

排水ホースを直接排水口に導き、排水ホースの先端を中に50mm以上差し込みます。このときに排水ホースは流れやすいように下り勾配にし、先端がつぶれたり、配水管に密着してふさがれていないか確認してください。





# 電気工事

電気設備に関する技術基準および内線規程に基づき、指定工事業者が施工してください。

## 警告

電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因になります。



コンセントを単独で使用する

アース（接地）線を取り付ける

故障・漏電のときに感電する原因になります。

D種接地工事をし、アース線はガス管・水道管・

避雷針・電話線などへの接続はしないでください。



アースの接続

## アース（接地）線の接続

電源を接続する前に、アース（接地）はD種接地工事〔接地抵抗100オーム以下〕をおこない、確実に接続してください。また、施設後は、接地抵抗が100オーム以下であることを必ず確認してください。

## 電源の接続

電源は単相交流100Vを使用し、15A以上の専用コンセントを使用してください。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が発火し、火災の原因になります。

また、専用コンセントは自動お茶いれ機本体が異常のときに、電源プラグを抜くことができる場所に施工してください。

# チェックポイントと試運転

配管工事、電気工事が終わりましたら、次の順序でチェックしながら試運転してください。

## 配管工事後のチェックポイント

- 据え付けた床面の強度は十分ですか？
- 自動お茶いれ機本体は、ぐらつかず安定していますか？
- 配管は据え付けられた地区の基準にしたがっていますか？
- 専用止水栓は、ついていますか？
- ストレーナー、減圧弁の取付方向と位置は適切ですか？
- 排水ホースは折れ、曲がり、ねじれなどはありませんか？
- 排水ホースの先端が排水口の中に50mm以上差し込まれていますか？
- 排水ホースの先端がつぶれたり、配水管に密着してふさがっていませんか？

## 電気工事後のチェックポイント

- アースの接続は確実ですか？
- 接地抵抗は測定し100オーム以下でしたか？
- 電源プラグは専用コンセント（100V15A以上）に確実に接続してありますか？

## 試運転と試運転時のチェックポイント

- 専用止水栓を開き、電源スイッチを「入」にしたとき、給水しますか？
- 給水中、給水完了後に自動お茶いれ機本体および各配管接続部から水漏れはありませんか？
- 排水時の水漏れを確認しましたか？  
水漏れがなく排水できることを確認してください。
- 漏電遮断器（電源スイッチ）のテストボタンを押し「切」になることを確認しましたか？  
電源スイッチは漏電遮断器をかねています。  
テストボタンを押し、レバーが「切」になり、飲料ボタンのランプが消えれば正常です。

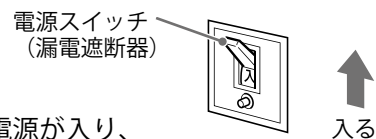
# 正しい使いかた

## はじめてご使用になるときは

輸送のためのテープや保護パッキン類を取りはずす  
内部などの包装材や、固定用の接着テープが付着していないか確認します。

### 電源の入れかた

前面板を開けて電源スイッチをかねている、漏電遮断器のレバーを上にあげると電源が入り、前面板の飲料ボタンランプ、または準備中ランプが点灯し、内部の換気ファンが回ります。



### より衛生的にご使用いただくために

工場出荷時にタンクや本体内の配管内部を洗浄していますが、より衛生的にご使用いただくために、次の手順で2~3回繰り返し内部を洗浄してください。

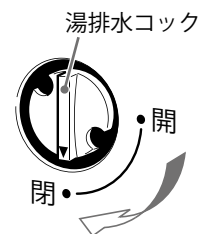
1. 以下の「給水のしかた」にしたがい、給水します。
2. 給水後、飲料ボタン「お茶(1杯)」を押し、4~5杯コップに水を抽出し、配管内を洗浄します。
3. 以下の「排水のしかた」にしたがい、本体内部の水を排水します。
4. 再度、給水してからご使用ください。

## 給水のしかた

飾りネジをはずして下部カバーを開け、湯排水コックが閉まっていることを確認します。

### 1 止水栓を開き給水する

水道の止水栓を開き、本体内部や給水配管からの水漏れがないことを確認します。



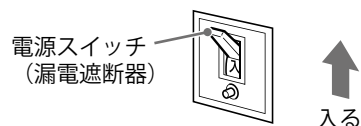
### 2 電源を入れる

前面板を開け、電源スイッチ（漏電遮断器）のレバーを上げ電源を入れます。  
電磁弁が開きタンクに給水が始まり、規定水位になると自動的に給水を停止し、ヒーターに通電されてお湯を沸かし始めます。



### 3 断水や一度で満水にならないとき

断水や一度で満水にならないときは、準備中ランプが点灯して給水を一時中止します。水道の給水を確認し、電源を入れ直してください。



## 給湯機から給湯を受ける場合

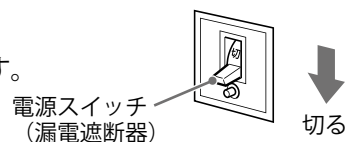
他の給湯機を接続する場合は、飲料用給湯機を使用してください。

給水の方法は給湯機の取扱説明書や工事説明書にしたがい、減圧弁や逃し弁が接続されていることを確認してください。

## 排水のしかた

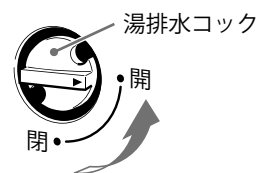
### 1 電源スイッチを切る

前面板を開け、電源スイッチ（漏電遮断器）のレバーを下げ、電源を切ります。  
電源スイッチを切らないと排水中に給水してしまいます。



### 2 湯排水コックを開き排水する

飾りネジをはずして下部カバーを開け、湯排水コックを開きます。



#### お願い

2日以上ご使用にならないときは、雑菌繁殖の恐れがあります。  
湯タンクの水を排水してください。

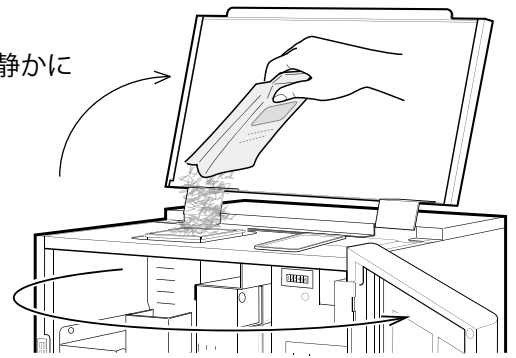
### 3 湯排水コックを閉じる

排水が完了したのを確認し、湯排水コックを閉じます。

## 茶の葉の入れかた

前面板を開けてから上面板を開け、原料容器の蓋を取り、上から茶の葉を静かに入れてください。原料容器の容量は、約1,200mlです。  
茶の葉を無理に詰め込まないでください。  
内部で詰まり出なくなることがあります。

指定の原料（茶の葉）以外はご使用にならないでください  
原料の種類によって茶の葉の大きさなどが異なると、正常な動作ができないことがあります。  
詳しくは、販売店にご相談ください。



## 茶の葉の交換条件の変更

### ⚠ 注意

茶の葉の交換動作中は交換機構部に手を触れない  
けがをする原因になります。

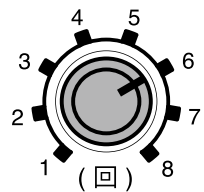


接触禁止

### 茶の葉交換回数を設定

お茶の抽出回数をマイコンが記憶し、設定した回数に達すると自動的に茶の葉を交換します。  
茶の葉の交換条件は、コントローラーの「茶の葉交換回数」つまみで調節することができます。

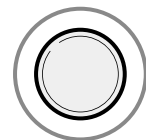
### 茶の葉交換回数



### 手動で交換するとき

お手入れの後や手動で交換したいときは、前面板を開けてコントローラーの「茶の葉交換」ボタンを押します。「茶の葉交換」ボタンは、連続して押すと、故障の原因となります。茶の葉が出終わった後、10秒以上の間隔をあげてください。

### 茶の葉交換



### お願い

茶の葉の使用量が多いところでは、茶ガラ入れが一杯になる前に、茶ガラを捨ててください。

## 抽出時の注意

### ⚠ 注意

飲料の抽出動作中は抽出部に手を入れない

やけどをする原因になります。

特にポット取り時は1回の動作が複数回に分かれて抽出されますので、抽出が終わるまで手を出さないでください。



接触禁止

カップ、ポット等の容器を正しい位置にセットしてから飲料ボタンを押す

容器内に正しく抽出しないと、飲料の飛び散りによるやけどや、カップステーションに廃液がたまり、あふれる原因になります。



容器を正しく置く

カップステーションに飲料などを捨てない

カップステーションがあふれる原因になります。



飲料廃棄禁止

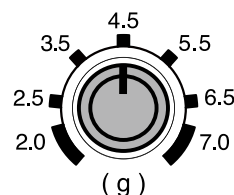
# 正しい使いかた (つづき)

## 茶の葉量の調節

茶の葉を交換するたびに設定した量の新しい茶の葉を出す機能のほかに、お茶の濃さを均一にするために、1杯抽出ごとに茶の葉を追加することができます。茶の葉の種類やお茶の濃さのお好みに応じて茶の葉量を調節してください。

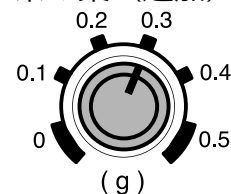
- 1 1杯目のお茶の濃さを調節する  
コントローラーの「茶の葉 (初回)」つまみを調節して、1杯目のお茶の濃さを調節し、「茶の葉交換」ボタンを押します。

茶の葉 (初回)



- 2 追加する茶の葉の量を調節する  
茶の葉を交換するまでのお茶の濃さが、なるべく均一になるように「茶の葉 (追加)」つまみで1杯ごとに追加する茶の葉量を調節します。また、「茶の葉 (追加)」つまみで0gに設定すると、茶の葉を追加しないで使うこともできます。

茶の葉 (追加)



### お願い

電源スイッチを入れなおしたときは、「茶の葉交換」ボタンを押して、茶こし網に新しい茶の葉を入れてからご使用ください。

目盛りの数字は、およその目安で、茶の葉の種類などで変わります。

## 湯量の調節

コントローラーの湯量調節つまみで湯量を調節することができます。

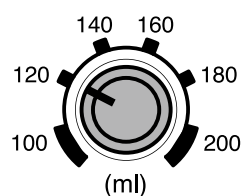
お好みに応じて、調節してください。

湯量は1杯抽出時とポット取り時のそれぞれで調節できます。

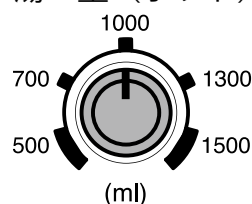
ポット取りは前面板の「お茶(ポット)」ボタンを2秒間長押しすると、設定された湯量になるまで、複数回に分けて抽出動作を繰り返します。

そのときの抽出動作回数は湯量設定量により変わります。

湯量 (1杯)



湯量 (ポット)



目盛りの数字は、およその目安です。

### ポット取り抽出で使用する場合

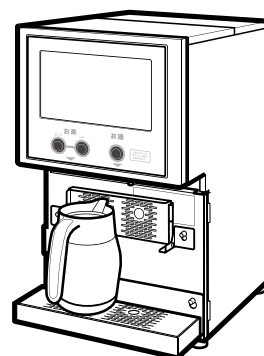
1回の操作でポット1本分のお茶を抽出することができます。

カップステーション上方の「可倒式スノコ」をはね上げます。

カップステーションにポットをセットしてから、前面板の「お茶(ポット)」ボタンを2秒間長押しして抽出してください。

抽出を途中で止めたい時は、「お茶(ポット)」ボタンを1回押ししてください。

「可倒式スノコ」は、飾りネジをゆるめて取りはずすこともできます。



## 湯温の設定 (湯タンクの沸き上げ温度は「98℃」と「90℃」の設定が可能)

自動お茶いれ機本体の電源を一旦切り、飲料ボタン「お茶(1杯)」と「お茶(ポット)」を押しながら電源を入れ、そのまま2秒間以上押し続けると、湯温が「98℃」から「90℃」に変更されます。

設定終了後、「お茶(ポット)」のボタンランプが3秒間点滅します。

また、もう一度同じ動作をおこなうと、湯温が「90℃」から「98℃」に変更されます。

(モード確認方法) 「98℃」設定：電源投入後5秒間、「お茶(ポット)」のボタンランプが消灯する。  
「90℃」設定：電源投入後5秒間、「お茶(ポット)」のボタンランプが点滅する。

## ブザー音の設定 (抽出時およびリンス時のブザー音は「する」と「しない」の設定が可能)

自動お茶いれ機本体の電源を一旦切り、飲料ボタン「お湯」と「お茶(1杯)」を押しながら電源を入れ、そのまま2秒間以上押し続けると、ブザー音が「する」から「しない」に変更されます。

設定終了後、「お茶(ポット)」の準備中ランプが3秒間点滅します。

また、もう一度同じ動作をおこなうと、ブザー音が「しない」から「する」に変更されます。

(モード確認方法) ブザー音「する」：電源投入後5秒間、「お茶(ポット)」の準備中ランプが消灯する。  
ブザー音「しない」：電源投入後5秒間、「お茶(ポット)」の準備中ランプが点滅する。

## 原料売切れ検知機能の設定 (原料売切れ検知は「する」と「しない」の設定が可能)

自動お茶いれ機本体の電源を一旦切り、飲料ボタン「お茶(1杯)」を押しながら電源を入れ、そのまま2秒間以上押し続けると、原料売切れ検知が「しない」から「する」に変更されます。

設定終了後、「お茶(1杯)」のボタンランプが3秒間点滅します。

また、もう一度同じ動作をおこなうと、原料売切れ検知が「する」から「しない」に変更されます。

(モード確認方法) 原料売切れ検知「する」：電源投入後5秒間、「お茶(1杯)」のボタンランプが点滅する。  
原料売切れ検知「しない」：電源投入後5秒間、「お茶(1杯)」のボタンランプが消灯する。

<原料売切れ検知機能> 原料(茶の葉)の残量を計算し、売切れを知らせる機能です。

- 原料(茶の葉)の初期残量を400gとし、原料を吐出するたびに、使用した原料の量を残量から引いていきます。
- 原料の残量が50g以下になったら、「お茶(1杯)」のボタンランプが点滅し、「お茶(ポット)」と「お茶(1杯)」は、抽出できなくなります。(「お湯」の飲料ボタンは抽出可能)
- 電源スイッチを切ると、原料の残量が初期残量の400gにもどります。  
原料を満杯まで投入したら、電源スイッチを一旦切って、電源を入れなおしてください。

お手入れなどで電源スイッチを一旦切ったときは、原料を満杯まで投入してください。

## 故障等の異常時の表示

故障等の異常時は、下表のとおり飲料ボタンのランプを点灯表示します。

異常内容	「お茶(ポット)」ボタン		「お茶(1杯)」ボタン		「お湯」ボタン	
	ボタンランプ	準備中ランプ	ボタンランプ	準備中ランプ	ボタンランプ	準備中ランプ
湯センサーの異常	点滅					
調節つまみの異常		点滅				
交換メカの異常			点滅			
給水の異常				点滅		
原料売切れ			点滅		いずれかが点灯	

# お手入れ

## 警告

部品の取り付け、取りはずしおよびお手入れするときは、電源スイッチを切る  
感電やけがの原因になります。



指示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない

ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

部品を取りはずし洗浄するときは

ぬるま湯（50℃以下）をご使用ください。高温のお湯を使用すると、変形したり故障の原因になります。

茶シブの付着は早めに

茶シブを放置すると落ちにくくなります。早めにふきとってください。

汚れが落ちにくいときは

薄めた中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジなどで擦り洗いし、きれいな水で洗剤を洗い流してください。

原料容器を着脱するとき

茶の葉を入れたままで、原料容器を着脱するときは、その先端から茶の葉がこぼれないように、静かに取り扱ってください。

お茶の使用量が多い場合は

茶ガラ入れが一杯になる前に捨ててください。

お手入れが終わったら

部品をもとの位置に納め、電源スイッチを入れてから、コントローラーの「茶の葉交換」ボタンを押して、茶こし網に新しい茶の葉を入れてご使用ください。

## お手入れの時期と手順

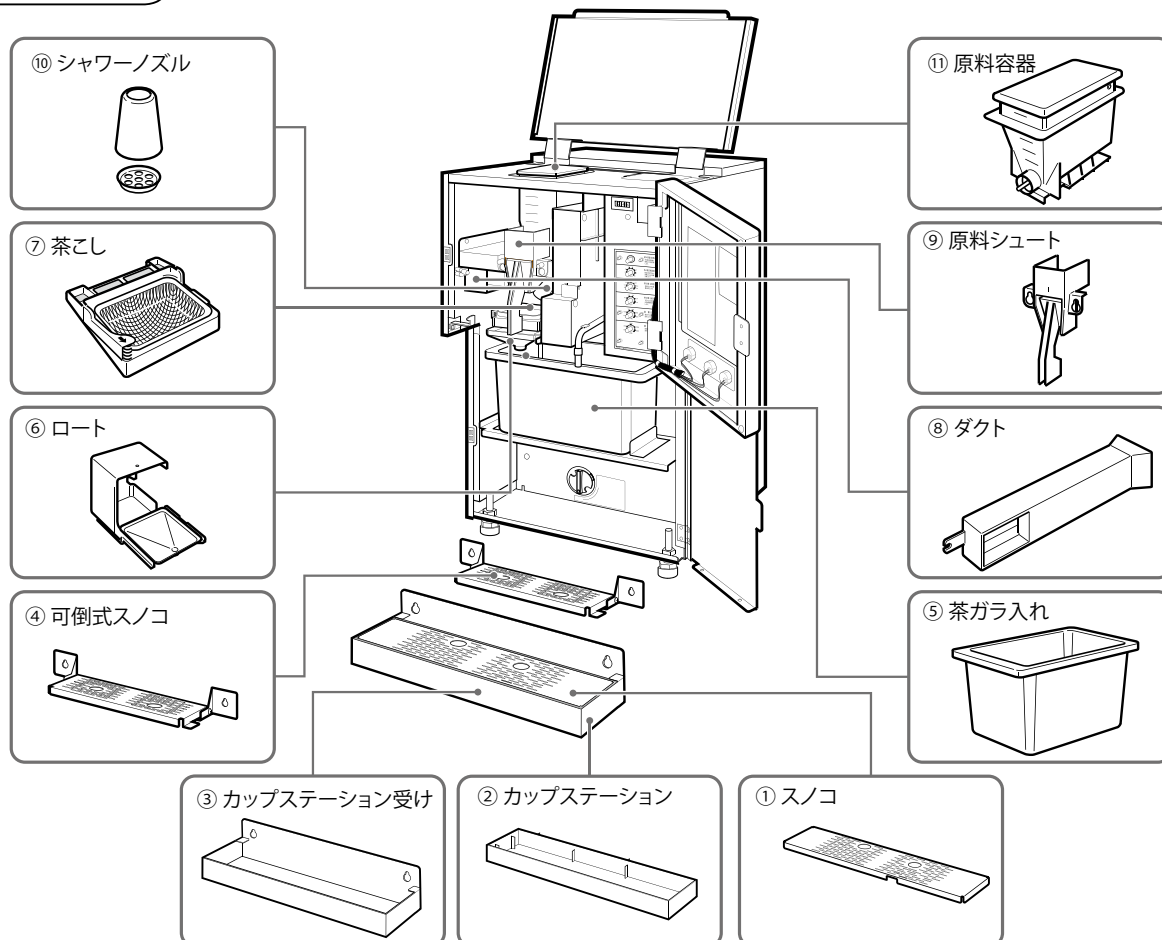
お手入れの時期と手順は下図の順番でおこないます。

順番が違うと取りはずせない部品もあります。取り付けるときは、逆の手順でおこなってください。

毎日のお手入れ …①②③④⑤⑥⑦

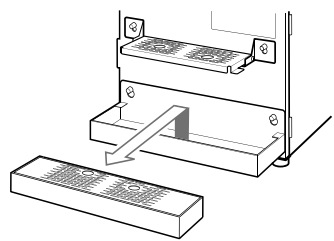
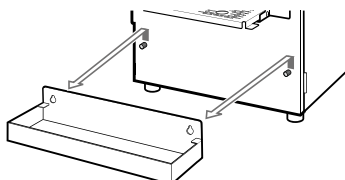
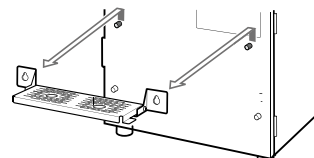
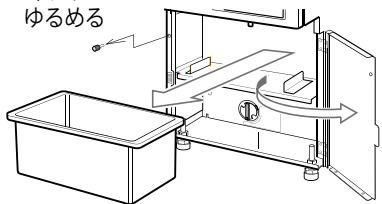
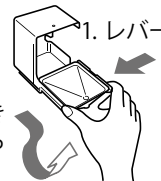
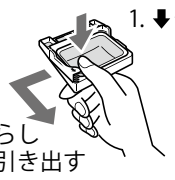
月に一度のお手入れ …⑩⑪

週に一度のお手入れ …⑧⑨および湯タンクの排水



# 毎日のお手入れ

手順にしたがい部品を取りはずしてください。取り付けは逆の手順でおこなってください。

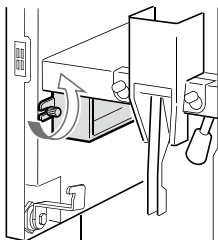
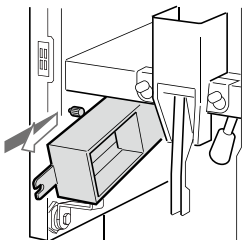
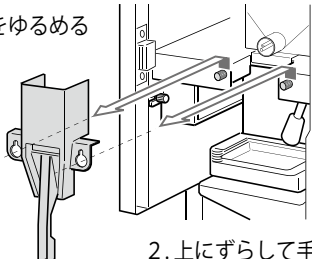
手順	部 品	お手入れのしかた	
① ②	カップステーション ス ノ コ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カップステーション受けから、スノコとカップステーションを一緒に持ち上げて、取りはずしてください。カップステーション内に廃液がたまっている場合がありますので、こぼれないように注意して取り出してください。</li> <li>●洗浄した後、水気を切ってください。</li> </ul>	 <p>上に持ち上げて取りはずす。</p>
③	カップステーション受け	<ul style="list-style-type: none"> <li>●飾りネジをゆるめ、少し持ち上げて手前に取りはずしてください。</li> <li>●洗浄した後、水気を切ってください。</li> </ul>	<p>1. 飾りネジをゆるめる</p>  <p>2. 少し持ち上げて手前に取りはずす。</p>
④	可倒式スノコ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●飾りネジをゆるめ、少し持ち上げて手前に取りはずしてください。</li> <li>●洗浄した後、水気を切ってください。</li> </ul>	<p>1. 飾りネジをゆるめる</p>  <p>2. 少し持ち上げて手前に取りはずす。</p>
⑤	茶ガラ入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●飾りネジをはずして下部カバーを開けた後、手前に引き出してください。</li> <li>●洗浄した後、水気を切ってください。</li> </ul>	<p>1. 飾りネジをゆるめる</p> <p>2. 下部カバーを開ける</p>  <p>3. 茶ガラ入れを手前に引き出す</p>
⑥	ロ ー ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ロート右のレバーと左端を持ってレバーを左側へ変形させながら手前に引き出し、茶こしに当たったところで回しながらはらずしてください。</li> <li>●洗浄した後、水気を切ってください。</li> </ul>	<p>1. レバーをつまむ</p>  <p>2. 手前に引き出し回しながらはらず</p>
⑦	茶 こ し	<ul style="list-style-type: none"> <li>●左側レバー（↓部）をつまみ、左にずらし手前にはずして、ぬるま湯で中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジなどで擦り洗いしてください。</li> <li>●洗浄した後、水気を切ってください。</li> </ul>	<p>1. ↓部をつまむ</p>  <p>2. 左にずらし手前に引き出す</p>

- 機械内外のホコリ、汚れなどは、きれいな布でふきとってください。
- 特に茶シブは放置すると落ちにくくなりますので早めにふきとってください。
- お茶の使用量が多いところでは、茶ガラ入れが一杯になる前に茶ガラを捨ててください。
- 清掃が終わったら、部品はもとの位置に納めてください。
- お手入れ後は電源スイッチを入れ、「茶の葉交換」ボタンを押し、茶こし網に新しい茶の葉を入れてご使用ください。

# お手入れ (つづき)

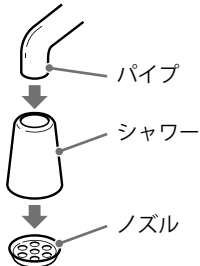
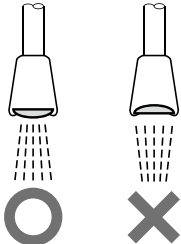
## 週に一度のお手入れ

「毎日のお手入れ」の部品をはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。取り付けは逆の手順でおこなってください。

手順	部 品	お手入れのしかた	
⑧	ダ ク ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>●左側の飾りネジ1本をゆるめ、一度奥にずらし、斜め右に傾けて、手前に引いてはずしてください。</li> <li>●洗浄した後、十分乾燥させてから、取り付けてください。</li> </ul>	<p>1. 飾りネジをゆるめる</p>  <p>2. 奥にずらし、斜め右に傾けて手前に引く</p> 
⑨	原 料 シ ュ ー ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>●飾りネジ2本をゆるめ、上へずらして手前にはずしてください。</li> <li>●洗浄した後、十分乾燥させてから取り付けてください。</li> </ul>	<p>1. 飾りネジをゆるめる</p>  <p>2. 上にずらして手前にはずす</p>
—	湯 タ ン ク	●湯排水コックを開き、湯タンクの水を新しい水と入れ替えてください。	

## 月に一度のお手入れ

「毎日のお手入れ」、「週に一度のお手入れ」の部品をはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。取り付けは逆の手順でおこなってください。

手順	部 品	お手入れのしかた	
⑩	シャワーノズル	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パイプからシャワーとノズルをはずし、洗浄してください。湯垢などかたまり、目がつまってお湯の出が悪くなる場合があります。このような時は、ピンのようなものでノズルの穴を通してください。</li> <li>●ノズルをシャワーに取り付けるときは、ノズルが下に凸になるように取り付けてください。</li> <li>●シャワーは確実にパイプに差し込んでください。</li> </ul>	<p>1. パイプからシャワーとノズルをはずして洗浄</p>  <p>2. ノズルが凸になるようにシャワーに取り付け</p> 
⑪	原 料 容 器	●原料容器中の茶の葉を全て取り出し、洗浄した後、十分乾燥させてください。	



# 修理サービスを依頼する前に

こんなときは	調べるところ	処置のしかた
湯が沸かない	●電源プラグがはずれていませんか？	●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	●電源スイッチが切れていませんか？	●電源スイッチを入れてください。
	●断水していませんか？ または給水配管の止水栓が閉まっていますか？	●湯タンクの水位が下がると、ヒーターに通電されなくなります。給水配管の止水栓を開いてください。
湯がぬるい	●湯温の設定が低くなっていませんか？	●お望みの温度に設定してください。
	●湯排水コックはしっかりと閉まっていますか？	●湯が流れ出て、常に新しい水が入っているためです。湯排水コックはしっかりと閉めてお使いください。
湯が出ない	●断水していませんか？ または給水配管の止水栓が閉まっていますか？	●給水配管の止水栓を開いてください。
飲料ボタンの「準備中」が点灯している	●連続して多量のお茶やお湯を抽出した後ではありませんか？	●再び湯が沸くまでお待ちください。
	●「湯が沸かない」「湯がぬるい」の項参照。	●同左。
飲料ボタンの「準備中」が点滅している	●断水していませんか？ または給水配管の止水栓が閉まっていますか？	●給水配管の止水栓を開いてください。
運転音が大きい	●機体が不安定ではありませんか？	●丈夫で平坦な場所に据えつけ、機体がグラグラしないように安定させてください。
	●機体が他の製品に触れていませんか？	●他の製品から離してください。
飲料の味がまずい 飲料の味が薄い 飲料の味が濃い	●茶の葉の種類をかえていませんか？	●指定の専用のお茶をご使用ください。
	●原料容器の中に茶の葉がありますか？	●茶の葉を入れてください。
	●茶の葉量の調節はされましたか？	●茶の葉量の調節のしかたをお読みになりお好みの濃さになるように調節してください。
	●茶の葉の出口はつまっていますか？	●つまりを取り除いてください。
	●原料シュートは取り付けてありますか？	●原料シュートを取り付けてください。 原料シュートがないと茶の葉が飛び散ります。

# 仕 様

形 名		HPT-317L
外 形 寸 法	幅340mm×奥行480mm (カップステーション受け含む498mm)×高さ635mm	
質 量	21.0kg	
タ ン ク 容 量	7.4L	
湯 温	約98℃ (90℃にも設定可能)	
原 料 容 器 容 量	約1,200ml	
茶 の 葉 交 換	1~8回 (マイコン回数記憶による自動) または茶の葉交換ボタンによる手動交換	
初回の茶の葉量	約2.0~7.0g可変	
追加の茶の葉量	0~約0.5g可変	
湯 量	約100~200ml可変【ポット:500~1,500ml可変】	
給 水 方 式	水道直結式 (給水水圧:0.05~0.75MPa)	
給 水 管 口 径	G1/2A	
電 気 定 格	電 源	単相交流100V 50/60Hz共用
	消費電力	1,010W
表 示		LEDランプ
加 装 熱 置	電熱装置	シーズ線ヒーター (1,000W)
	温度調節	サーミスタによる電子コントロール
	安全装置	温度過昇防止器
付 属 品		取扱説明書

# 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

## 保証書

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この自動お茶いれ機の保証期間は、お買い上げいただいた日から1年です。  
その他、詳しくは保証書をご覧ください。

## 補修用性能部品の保有期間

- この自動お茶いれ機の補修用性能部品は製造打切後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるときは

## 出張修理

16ページ「修理サービスを依頼する前に」にしたがって調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

### ■保証期間中は.....

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。  
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

### ■保証期間が過ぎている場合は.....

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

### ■修理料金の仕組み.....

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

### ■ご連絡いただきたい内容.....

品名	自動お茶いれ機
形名	HPT-317L
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店名を記入されておくと便利です。  TEL.

## 長年ご使用の自動お茶いれ機の点検を！

このような症状はありませんか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ブレーカーがたびたび切れる。</li> <li>●電源コードや電源プラグに過熱や破損がある。</li> <li>●運転音が異常に大きい。</li> <li>●電源スイッチの動作が不確実。</li> <li>●その他の異常・故障がある。</li> </ul>	▶	ご使用中	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
-----------------	--	---	------	---

# ⚠ 長期使用製品の安全に関するお願い

## ⚠ 長期使用製品の安全に関する表示

■設計上の標準使用期間：7年（製造年：本体内に西暦年をラベルで表示しています。）  
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発煙・発火の事故に至るおそれがあります。

■設計上の標準使用期間とは  
運転時間や温湿度など、下記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。  
設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。  
また、一般的な故障を保証するものではありません。

■経年劣化とは  
長期間に渡る使用や放置にともない生じる劣化をいいます。  
標準的な使用条件と異なる場合や、本来の使用目的以外や改造等で使用された場合、短い期間で故障や経年劣化による発煙・発火の事故に至るおそれがあります。

### ■標準的な使用条件

区分	項目	条件
環境条件 (屋内使用)	電圧	交流100V
	周波数	50Hz/60Hz
	室温	5℃~35℃
	湿度	85%以下
負荷条件	給水圧	0.05MPa~0.75MPa
	給水温度	5℃~30℃
	負荷	12時間/日 使用
使用条件	1日使用杯数	100杯
	1ヶ月使用杯数	2,000杯
	1年間使用杯数	24,000杯